



もぎたて通信

令和7年11月28日
長崎市立茂木小学校
発行 校長 松尾伸章

ホームページ www.nagasaki-city.ed.jp/mogi-e/

風が冷たく感じるようになりました。運動場のフェンスには、育成協の皆さんにイルミネーションを取り付けていただきました。玄関には、生け花クラブのすてきなクリスマスツリーも飾られました。来週から12月（師走）です。2学期の登校日数は残り18日です。これまでの成長を確かめさせながら、「2学期、〇〇ができた。できるようになった。」と、どの子も実感できるよう2学期のまとめをしっかりと行っていきたいと思います。



12月行事予定

- 1日（月）安全の日 さわやかタイム
- 2日（火）もぎトーク
- 3日（水）5年野外宿泊学習（5日まで）
- 4日（木）6年茂木中合唱祭へ トムソーヤーズ読み聞かせ1・2年
- 5日（金）1年親子給食
- 8日（月）チャレンジ検定（国語） 縦割り遊び
- 9日（火）人権集会
- 10日（水）午前中5時間短縮日課（18日まで）
- 11日（木）トムソーヤーズ読み聞かせ1・2年
- 17日（水）6年薬物乱用防止教室
- 18日（木）4年赤十字講習会（アイマスク・車椅子・高齢者疑似体験）
- 19日（金）2～5年算数学力テスト 6年ろう学校と交流 1年茂木保育園との交流
- 21日（日）（家庭の日）
- 22日（月）チャレンジ検定（算数）
- 23日（火）もぎの木タイム
- 24日（水）第2学期終業式
- 25日（木）～1月7日（水）冬休み ※1月8日（木）第3学期始業式

4年生 小音会 よくがんばりました！

11月12日（水）、茂木小学校の4年生は、長崎市小学校音楽会に出場しました。演奏した曲は、茂木ふれあいまつりでも披露した合奏「鉄わんアトム」です。ブリックホールという立派な舞台でとても緊張した様子でしたが、9月から一生懸命練習してきた子供たちです、練習の成果をしっかりと出し切り、これまでで最高の演奏ができました。

残念ながら体調不良で1名参加できませんでしたが、その子の分まで出場できた子供たちみんなで心をつにし、観客を感動させるすばらしい音色を会場中に響かせていました。茂木小学校の代表として、立派な姿を見せることができました。たいへんよくできました！



修学旅行



11月13日（木）から14日（金）の1泊2日で、6年生が熊本へ修学旅行に行ってきました。出発する週になって体調を崩している子がちらほら出てきて、残念ながら出発当日は2名の欠席となってしまいました。熱発し1日目のみで帰らなければならない子も出て、たいへん可哀そうでしたが、何とか元気に過ごすことができた子供たちは充実した2日間を過ごしました。

1日目は、まず熊本城へ行き、復活した天守閣を見学するなど、学習を深めました。それから阿蘇へ向かい、エルパティオ牧場で乗馬体験。そして、ホテルで美味しい食事をいただいたり、温泉に入ったり、仲間との楽しい時間を過ごしました。

2日目は、まず草千里ヶ浜で自由散策をして、阿蘇の雄大さを感じ取りました。それからトロッコ列車に乗り、絶景を堪能しました。最後は、阿蘇ミルク牧場でバイキングの昼食や牧場内の散策をして、阿蘇の魅力を満喫しました。



出発式で、①プラス言葉をたくさん使いましょう ②しっかりと人の話を聴きましょう ③誰もが少しでも我慢しましょうという3つのミッションを与えていました。修学旅行の一番の学びは、学校ではできない、長崎では体験できないことを体験することです。しかし、熊本城などのその場でしか体験できない学びも大切ですが、公共の場での行動を自分たちで考え判断することも、とても大切な学びとなります。楽しむだけでなくしっかりとした学びをしてほしかったからです。

子供たちは、様々な見学場所でマナーを心がけ、時間を守り、その場に合った行動をすることができました。そして、学級で決めたスローガン「みんなが笑顔で帰ってこれる修学旅行」をもとに、バスの中のレク等も計画・運営し、仲良く声を掛け合いながら、みんなが楽しい、素敵な時間をつくっていました。一緒にいた大人の私たちもたいへん心地よい雰囲気を作り出すことができていました。子供たちの成長を感じる、たいへん良い修学旅行でした。



若菜川を眺めて

キツネもオオカミも、同じイヌ科の動物ですが、同じ母親から生まれる子供の性格は正反対なのだそうです。キツネは、同じ母親から同じような性格の子供が生まれます。将来、ぶつかり合い、同じ場所で暮らすことをしないためです。オオカミは、同じ母親から性格の違う子どもが生まれます。将来、集団をつくり社会性を養うためです。社会性に必要なのは、「ちがひ」ということなのではないでしょうか。

では、私たち人間は、どちらに近いのか？と考えると、迷うことなくオオカミと言えるでしょう。それぞれの関わり方に違いはあれど、やはり私たちは他者と交わりながら、集団で生きているからです。言い換えれば、私たちは「違い」を受け入れる能力をもっているから社会をつくり、発展できたのです。「違い」があることは当たり前で、むしろ「違い」を認め合える関係こそ、自然な社会のあり方なのかもしれません。

さて12月です。12月4日～10日は人権週間、10日は世界人権デーです。茂木小学校でも、「違い」を認め合い、より相手を大切にしたいものです。